

事故シーケンス評価用コードSECOM 2

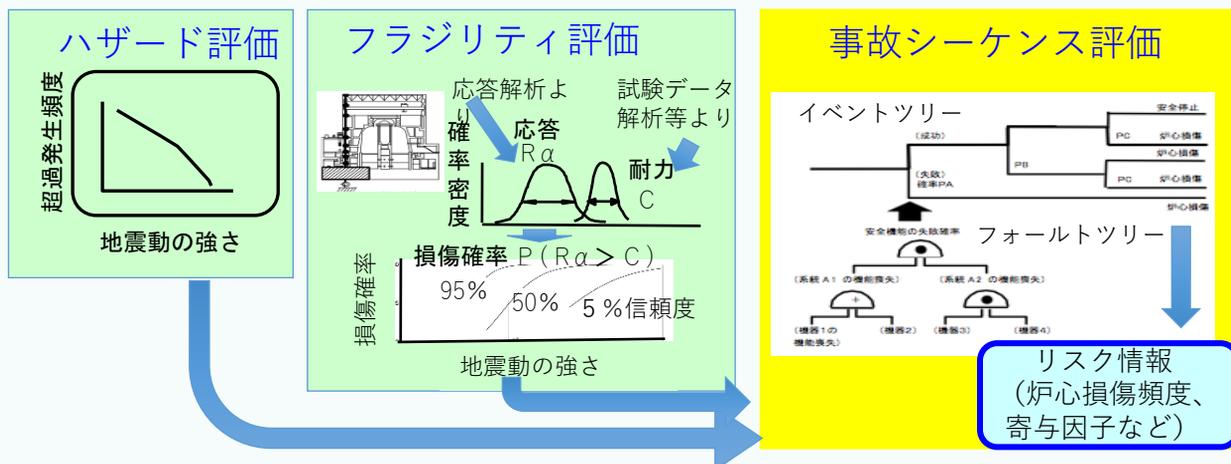
- 地震リスク評価で重要となる多数機器の同時損傷確率を、相関性の影響を適切に考慮しつつ評価可能
- モデルの拡張性が高く、手法改良研究に好適

キーワード：

確率論的リスク評価（PRA）は、原子力発電所の新規制基準に基づく継続的安全向上活動や新検査制度導入のキー技術となっています。本コードは次の機能・特長により、地震PRAの効果的な活用を支援します。

- フォールトツリー(FT)/イベントツリー (ET)で表された**事故シーケンス(事故進展)**の発生頻度を評価可能⇒アクシデントマネジメントの継続的改善
- 個別機器の耐力のリスクへの影響度を評価可能⇒保全における**リスク重要度評価**等への活用
- 評価結果の不確かさを定量的に評価可能(**不確かさ解析**) ⇒意思決定の裏付け
- 類似機器の**損傷相関の考慮**について、**モンテカルロ法**を用いた**独自の手法**で適切に対応可能
- 一般の産業施設でも、地震による事故をFT/ETで表現できる場合には適用可能

地震リスク評価における事故シーケンス評価の役割



技術のステージ



実用化開発

関連業種

学術・開発研究機関

利用分野

- ・ 大規模・複雑な産業施設の地震リスク評価
- ・ 各種原子力施設の地震リスク評価

知財・関連技術情報

Muramatsu et al., Proc. TopSafe 2017.
<https://www.euronuclear.org/archiv/topsafe2017/pdf/fullpapers/TopSafe2017-A0022-fullpaper.pdf>

技術の詳細

